News Release

ローム株式会社
〒615-8585
京都市右京区西院溝崎町21
TEL: 075-311-2121
FAX: 075-315-0172
http://www.rohm.co.jp

2011年 12月21日

関係各位

〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
ローム株式会社
（コード番号 6963）

計画を早めて１月から全量供給再開

ロームがタイの洪水被害から復旧、安全宣言

半導体メーカーのローム株式会社（本社：京都市）は１月１日から、タイでの洪水被害により影響を受けていた製品の全量供給を再開します。

ロームグループがタイで生産していた製品は、LSI、トランジスタ、ダイオード、抵抗器、タンタルコンデンサの５品目で、10月８日にアユタヤ県ロジャナ工業団地にある「ラピス・セミコンダクタ・アユタヤ社（LAPIS Semiconductor (Ayutthaya) Co., Ltd.）」また10月15日にパトムタニ県ナワナコン工業団地にある「ローム・インテグレイテッド・システムズ・タイランド社（ROHM Integrated Systems (Thailand) Co., Ltd.）」において、洪水の為操業を停止、その後復旧に努めてきました。

「ローム・インテグレイテッド・システムズ・タイランド社」においては、浸水を免れた２階、３階部分において稼動停止直後から設備の保全及び再稼動に向けての復旧作業を進め、11月26日からLSI、トランジスタ、ダイオード、抵抗器の一部生産を再開、その後生産量を順次拡大、また並行して「ローム・エレクトロニクス・フィリピンズ社（ROHM Electronics Philippines, Inc.）」をはじめとするロームグループの他の生産拠点において緊急投資、生産能力の大幅な増強を進め、さらに外注委託分も含めてお客様からの受注に対する全量供給確保を実現しました。

ロームでは、洪水被害の直後から、水没した設備や金型を引き上げて他のロームグループの生産拠点への移設を進めたほか、使用可能な生産設備の保全を行いながら電力、水などのインフラ復旧に努め、11月下旬には水上工場として一部稼動を再開、また、水位が低下した11月末からは、1階部分についても排水作業と、装置の修理、整備を開始し、再稼動に向けて調整を進めてきました。ロジャナ工業団地にある「ラピス・セミコンダクタ・アユタヤ社（LAPIS Semiconductor (Ayutthaya) Co., Ltd.）」については、工場建屋が平屋であり、今後の洪水被害再発のリスクを考慮し、ラピスセミコンダクタ宮崎（宮崎県宮崎市）など他拠点での代替生産準備を進めてきました。さらに、ロームグループでは他工場での代替生産を円滑に進めるため、お客様との間で工場変更等の承認をお願いするなど、サプライチェーンの再構築に努めてきました。こうした対策を進めた結果、１月１日から洪水前の通常の供給量を確保することが可能となりました。また、お客様からの緊急受注等に対応するための安全在庫の積み上げも進め、２月には、在庫も含めた通常の運営に戻す予定です。

ロームグループでは、従来から生産品目ごとに複数の拠点で生産するなどお客様への安定供給体制の構築に努めてきましたが、今回のタイの洪水被害を踏まえて、今後はさらなるBCM体制の強化に努めていきます。今年３月に発生した東日本大震災では、ラピスセミコンダクタ宮城（宮城県大衡村）、ロームつくば（茨城県つくば市）が被災しましたが、今回の洪水被害と合わせて二度の災害経験を活かし、お客様への供給責任を果たせる万全の供給体制の構築に努めていきます。

なお、今回の全量供給再開による業績への影響について、11月９日に発表しました2012年３月期の通期業績見通しに対する大きな影響はありません。

以 上

＜この件に関するお問合せ先＞
ローム株式会社 広報IR室 室長 野里 浩平
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
TEL(075)311-2121、FAX(075)311-1363、E-MAIL pr@rohm.co.jp

＜「ローム・インテグレイテッド・システムズ・タイランド社」の概要＞

社名: ROHM Integrated Systems (Thailand) Co., Ltd.
所在地: 101/94, 102 Navanakorn Industrial Zone, Moo 20, Phaholyothin Road, Tambol Khlong-Nueng, Amphur Khlong-Luong, Pathumthani 12120 Thailand
代表者: President 南 比呂志 資本金: 1,115,500 千ﾀｲﾊﾞｰﾂ 従業員数: 3,323 名
生産品目: LSI、トランジスタ、ダイオード、抵抗器、タンタルコンデンサ、

＜「ラピス・セミコンダクタ・アユタヤ社」の概要＞

社名: LAPIS Semiconductor (Ayutthaya) Co., Ltd.
所在地: 1/39 Rojana Industrial Park, 1/39 Moo 5, Tambol Kanham, Amphur U-Thai, Ayutthaya 13210 Thailand
代表者: President 山田 隆基 資本金: 700,000 千ﾀｲﾊﾞｰﾂ 従業員数: 895 名
生産品目: LSI

＜今回の洪水被害の経緯＞（ご参考）

ROHM Integrated Systems (Thailand) Co., Ltd. （RIST）	
10 月 17 日（月）	ナワナコン工業団地の堤防が一部決壊したことに伴い、施設の保安要員と一部の日本人出向者を残して全員退避。
10 月 20 日（木）	工場建屋に浸水。
10 月 23 日（日）	約 30 人を派遣し、一部テストボード及び製品・金型等の搬出作業を開始。
10 月 26 日（水）	自家発電機導入開始、照明用、設備保全等に使用。
11 月 8 日（火）	RIST 社員を、他のロームグループ生産拠点への応援派遣開始。
11 月 17 日（木）	電力会社からの仮設受電を開始し、各工程に対し送電開始。
11 月 26 日（土）	LSI、トランジスタ、ダイオード、抵抗器の一部生産を再開。
12 月 10 日（土）	全電力復旧。従業員の通勤手段確保及び寮の運営を再開。
12 月 20 日（火）	2 階、3 階部分を中心にした 1 月 1 日からの全面復旧に目途。

＜稼動を再開した LSI のアセンブリライン＞



＜ROHM Integrated Systems (Thailand) Co., Ltd.の被災、復旧状況＞（ご参考）



工場建屋周辺の状況



工場建屋周辺の状況



工場建屋周辺の状況



タンタルコンデンサ製造ライン



従業員の移動



仮設発電機の搬入



電力会社による電力引き込み工事



工業団地での排水状況